

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|---|-----------------|
| ○事業所名 | にじいろキッズらいふ若里東 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年12月5日 | | ～ 令和7年12月25日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年12月1日 | | ～ 令和7年12月12日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 9 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月5日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 親子通園で保護者が支援に参加する場面が多く、こどもの成長を直接見たり、感じたりすることが出来る場面が多い。また、支援の意図や身体の成長へのアプローチなどを保護者と共有して行うことが出来る。 | 支援内容の意図、意味を保護者の方に伝わりやすいように部分的に伝えている。また、日々の小さな成長やできたことを話す中で、どこに意味のある成長なのかを紐づけながら伝えている。今行っている運動や遊びが身体面や対人面の成長にとって何に良くて、次はどんな成長へ繋げていくかを、家庭でもできるような運動、遊びとして提案をしている。 | 専門職との連携をより一層図りながらこどもたちの身体面、対人面の成長を共有し、保護者へ伝えていく。 |
| 2 | 保護者と支援員が相談しやすい環境であり、日々の中で相談や対応を共有し、こどもの成長に合わせた関わりを保護者と一緒に考えることが出来る。 | 様々な場面で保護者と会話をし、安心して話が出来ようような環境を作っている。 | こどもたちの成長を全職員で共有できるように関係者会議で専門職を含めた情報共有を行う。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--------------------------|
| 1 | 設備の老朽化が顕在化してきている。 | 賃借物件であり、既設されていた設備をそのまま使用しており、その設備が耐用年数を超えてきたことが要因。 | 設備の改修について計画的に実施していく。 |
| 2 | 制度など必要最低限理解しておくべきことが浸透していない。 | 日々の支援業務に追われ、共通理解をする場の設定が取れないことが要因。 | 定期的な会議を設定し、共通理解をする場を設ける。 |